

リクルート系、IT研修拠点

未経験者を育成、企業に派遣

リクルートホールディングス傘下の人材派遣会社リクルートスタッフィング情報サービス（東京・江東）が、未経験者を対象にしたIT（情報技術）エンジニアの育成事業を強化している。拠点となる研修センターをこのほど東京都墨田区に新設した。ITについて学んだことがなく、就業経験もないフリーターらをITエンジニアに育てる。今後も不足が見込まれるIT人材を自社で雇用しながら育成し、企業などからの派遣需要に応える。

JR錦糸町駅にほど近い研修センターには、100人前後が一度に研修を受けられる講義室のほか、エンジニア同士で情報交換ができるフリースペースを設けた。採用の拠点としても活用するため、面接用のブースもつくった。

リクルートスタッフィング情報サービスは就業経験のない若者らに、まず1週間程度をかけて基本的なビジネスマ

ナーを身に付けさせる。その上でコールセンターなど、比較的初歩的なスキルでも対応できる職場に派遣。実地で学びつつ、終業時間後や休日などを活用して研修センターで専門スキルを高めてもらう。具体的には、1〜3カ月をかけてITに関する基礎的な知識が身につけていることを証明する国家資格の「ITパスポート」を取得させる。次のステップとして、ITエンジニアに必要なより高度な知識の習得に挑戦してもらう。スタッフは無期雇用の派遣社員として採用する。入社

の年次ごとに目標とするレベルを設定し、計画的に能力を上げられるようにしている。

同社は2012年からITスキルも就業経験もないフリーターらの雇用を始めた。自社でITエンジニアに育成し、派遣社員として企業に派遣する事業を手がける。求人広告などでフリーターを募集し、これまで年間約100人

超を採用してきた。2018年度の在籍者数は約900人になった。通常、この分野では、大学や専門学校で情報通信技術や学んだり、企業でITエンジニアとして働いたりした経験を持つ人を派遣社員として採用している。ただ近年、自動運転車の開発や家電製品のIT化など、すべてのモノがネットにつながる「IoT」の裾野が様々な事業分野に広がり、IT人材の供給が必要に追いつかない状態が続いている。

パーソルキャリア（東京・千代田）のまとめによると19年4月時点で、IT・通信業で1人の求職者に対する求人数は6・3件。全体平均の2・19件を大きく上回る。経済産業省などの試算でも、ITシステムの保守運営から人工知能（AI）のような高度人材まですべて合わせて30年に45万人が不足するという。

（桜井豪）



入社後、計画的にITスキルを高めていく

入社後にスキルを高めていく

入社後の期間 (目安)	習得する技能や役割
0～2.5年未 満	ヘルプデスク業務やシステムの監視
2.5年～7年 未満	セールスエンジニアなど
7年～	企画、設計構築など